

平成23年行政事業レビューシート (農林水産省)

<b>事業名</b>	水稲作付面積調査における衛星画像活用事業		<b>担当部局庁</b>	大臣官房統計部		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21年度～平成22年度		<b>担当課室</b>	統計企画管理官		鶴見 和良			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	⑩政策ニーズに対応した統計の作成と利用の推進					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	現地確認作業の省力化など水稲作付面積調査をめぐる課題に対応するため、複数の衛星画像データとGISデータの重ね合わせにより、科学的かつ効率的に水稲作付面積を求積する手法を開発し、「水稲作付図」を作成する。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	平成21年度に水稲作付有無の判別に必要な異なる特性を有する地域(8市町村)で判別手法の開発や最適な衛星画像データの組み合わせの特定等を実施。平成22年度には、これらの成果を特性が混在する異なる地域(3県)に適用しつつ、判別精度の向上を図り、手法を確立。 また、本事業は、民間事業者への委託事業として、委託先に外部有識者等からなる「委員会」を設置し、その助言等の下で実施。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	395	367	-	-		
		補正予算	-	-	▲94	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	-	395	273	-	-		
		執行額	-	375	273	-	-		
	執行率(%)	-	95.0%	100%	-	-			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	衛星画像を用いたほ場毎の水稲作付有無の判別手法の確立(本事業の目標は、定量的な成果目標設定には馴染まない。)		成果実績	筆	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	① 判別ほ場数 ② 現地確認ほ場数 ③ 衛星画像データ撮影延べ面積	活動実績 (当初見込み)	筆	-	①256,988	①3,040,491	-		
			km <sup>2</sup>	-	②28,118	②49,495	-		
			km <sup>2</sup>	-	③375,721	③995,678	-		
					①(3,040,491) ②(49,495) ③(995,678)	( - )			
<b>単位当たりコスト</b>	89.8円(円/判別ほ場1筆当たり)		算出根拠	単位当たりコスト＝ 平成22年度契約額2億7,300万円÷判別ほ場数3,040,491筆					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>水稲作付面積調査に活用する手法を確立する等の一定の成果が得られたことから、今後、本事業で開発した手法を効果的に活用していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>事業仕分け第3弾の指摘は以下のとおりであり、本事業としては「抜本的改善」とする。</p> <p>（評価者からのコメントとして、事業の全体像が明らかになり、効果検証が確実になったところで行うべき、成果が具体的に理解しにくい、本事業の実施によって見込まれる出先機関の人員削減の行程表を早期に示すべき、といった意見が寄せられた。以上を踏まえ、本WGとしては、効果的に実施できるような事業の抜本的見直しを求めるという趣旨で「予算計上見送り」という結論としたい。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
24年度予算については予算計上見送り。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>事業仕分け第3弾  事業番号：B-15 衛星画像を活用した事業  事業名：(1) 水稲作付面積調査における衛星画像活用事業  WGの評価結果：来年度の予算計上は見送り（効果的に実施できるような事業の抜本的見直しを求める）  とりまとめコメント：  本事業については、「廃止」が1名、「予算計上見送り」が6名、「予算要求の縮減」が3名、うち半額が1名、3分の1縮減が1名、2割縮減が1名、「予算要求通り」が2名だった。  評価者からのコメントとして、事業の全体像が明らかになり、効果検証が確実になったところで行うべき、成果が具体的に理解しにくい、本事業の実施によって見込まれる出先機関の人員削減の行程表を早期に示すべき、といった意見が寄せられた。  以上を踏まえ、本WGとしては、効果的に実施できるような事業の抜本的見直しを求めるという趣旨で「予算計上見送り」という結論としたい。</p>			

農林水産省

273百万円



【総合評価入札】

A. 国際航業(株)

273百万円

国際航業株式会社の業務として要した経費 56百万円

- ① 画像解析、現地確認、委員会開催に係る人件費 38百万円
- ② 光熱水料、租税公課を含む一般管理費 9百万円
- ③ ソフトウェアライセンスの保守料等 4百万円
- ④ 現地確認、委員会開催に係る旅費 4百万円
- ⑤ 電子日本地形図等の購入に係る消耗品費 1百万円

【再委託】

B. (株)イメージワンなど(4社)

125百万円

- ① 水稲作付面積の求積手法の開発に係る衛星画像データの調達費用 61百万円
- ② 衛星画像の解析及びその現地確認に係る人件費 53百万円
- ③ 現地調査に係る旅費等 3百万円
- ④ 光熱水料等の一般管理費 8百万円

【随意契約】

C. 日本スペースイメージング(株)など(4社)

91百万円

- ① 水稲作付面積の求積手法の開発に必要な衛星画像データの調達費用 90百万円
- ② 委員会資料印刷費 1百万円

【見積合わせ】

D.(有)三征社

1百万円

事業報告書印刷費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて  
補足する)  
(単位:百万円)

A.国際航業(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部委託	(株)イメージワンなど 画像データの調達、衛星画像の解析	125			
物品購入費	衛星画像データ、電子日本地形図等 購入費	91			
人件費	画像解析、現地確認及び委員会開催 に係る人件費	38			
一般管理費	光熱水料、租税公課等	9			
役務費	画像解析用ソフトウェアライセンスの 保守料等	4			
旅費	現地確認、委員会開催に係る旅費	4			
印刷製本費	事業報告書印刷費	2			
計		273	計		
B.(株)イメージワン					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	衛星画像調達費用	54			
人件費	画像解析及び現地確認に係る人件 費	19			
一般管理費	光熱水量、租税公課等	4			
旅費	現地確認に係る旅費	1			
計		78	計		
C.日本スペースイメージング(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	衛星画像調達費用	70			
計		70	計		
D.(有)三征社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	事業報告書印刷費	1			
計		1	計		

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。  
 費目と使途の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際航業(株)	業務実施計画の策定、衛星画像データの解析、水稲作付面積の求積、水稲作付面積求積手法開発の取りまとめ、委員会による評価・承認	273	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イメージワン	RADARSAT-2(マイクロ)衛星画像データの取得、衛星画像データのオルソ化、水稲作付面積の求積手法の開発に係る衛星データの解析	78	再委託	
2	宇宙技術開発(株)	TerraSAR-X(マイクロ)衛星画像データの取得、各種光学衛星画像のオルソ化、水稲作付面積の求積手法の開発に係る衛星データの解析	23	再委託	
3	(財)リモート・センシング技術センター	ALOS(マイクロ)衛星画像データによる水稲作付面積の求積手法の開発に係る衛星データの解析	19	再委託	
4	日本スペースイメージング(株)	RapidEye(光学)衛星画像データの取得	5	再委託	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本スペースイメージング(株)	衛星画像(GOSMO-SkyMed(マイクロ)、IKONOS/GEOEYE(光学))データの調達	70	随意契約	
2	宇宙技術開発(株)	衛星画像(SPOT(光学))データの調達	18	随意契約	
3	(財)リモート・センシング技術センター	衛星画像(ALOS(光学))データの調達	2	随意契約	
4	(有)三征社	委員会資料印刷	1	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	(有)三征社	事業報告書印刷	1	2	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					